

観光経済

耕畜連携について

質問 耕畜連携による循環型農業推進の経緯等について伺いたい。

答弁 畜産公害防止と適正処理された家畜尿処理水の有効利用を目的に、豚尿処理活性水の散布試験を行い、ミネラル成分の活性化酵素としての効果など、その散布効果は大いに期待できるとの結果が出ている。このような試験研究成果報告を受けて、北里大学との産学官連携の中でもその有用性は確認されているが、散布機械の導入や散布作業に時間を要するなど、普及拡大を図るための課題は残されている。

このように課題は残されているものの、耕畜連携による循環型農業の推進は、家畜飼養頭数が県内トップクラスである当市において欠かすことのできないものであり、課題解決を図りながら積極的に取り組んでいかなければならない施策であると考えている。引き続き北里大学との連携を図り、指導、助言を仰ぎながら、

家畜排せつ物の有効利用による化学肥料に頼らない日本一の土づくりを基本とした日本一のニンニクを始め、長芋、ネギ、ゴボウなど主力品目の日本一の産地化を目指して取り組んでいきたい。



十和田バラ焼博覧会から

中心市街地活性化について

質問 中心市街地活性化対策を具体的に伺いたい。

答弁 現在、今後五年間の活性化策を盛り込んだ十和田市中心市街地活性化基本計画を策定中であるが、平成二十一年二月の認定申請に向けて、国の指導、助言を得るとともに、市事業の調整や民間事業との綿密な協議を行いながら策定事務を進めている。現時点では、

中心市街地の活性化事業は四十一件を想定し、うち民間の事業主体として予定しているものが二十三件となっている。その民間事業のうち、商業施設の再開発に係るものとして、旧松木屋地区での複合型商業施設整備事業、旧亀屋地区での商業集積地区整備事業、みちのく銀行周辺での商業住宅複合施設整備事業、駅周辺整備事業の四件について協議を重ねている。いずれも民間事業者も事業実施に向けて準備を進めていることから、今後この実現のためにしっかりと対応していくこととしている。

新幹線駅名について

質問 七戸町に建設中の新幹線駅名に「十和田」が入る可能性について伺いたい。

答弁 駅名については、十三地域広域市町村圏協議会において、「七戸十和田駅」ということで取りまとめられた。七戸町での動きも様々なようだが、上十三地域八市町村長による協議会で決定したことは、それなりの重みがあるものと考え、総合的に判断し、県知事に報告した。なお、最終的には地元

七戸町長が上十三地域広域市町村圏協議会や町民、町議会の意向を総合的に勘案し、JR東日本に要望するものと認識している。



2009 十和田湖冬物語から

観光行政について

質問 新幹線開業に伴い、現代美術館を含んだ新しい観光ルートの構想について伺いたい。

答弁 当市を含む四市四町が連携し、新たな青森の旅・十和田湖広域観光協議会が七月十六日に発足している。当協議会は、官民を挙げて新しい旅を観光客に提案していくこと、これまでにならぬ観光ルート開発や体験メニューを調査、研究している。この観光圏内には、現代美術館や鷹山宇一記念美術館、青森県立美術館、寺山修司記念館など多くのアト施設がある。これらの施

設を周遊して、十和田湖、奥入瀬溪流などの観光地と温泉、ご当地グルメなどを結びつけたいと考えている。したがって、多くの観光客が満足できる観光ルートづくりを観光圏等を中心に目指していきたい。

質問 グリーンツーリズムの経過や結果について伺いたい。

答弁 七月に北海道札幌市及び苫小牧市、八月に首都圏の旅行会社を訪問し、パンフレット「グリーンツーリズム十和田」を配布するなどして、修学旅行やグリーンツーリズムのPR活動を実施した。この結果、本年は苫小牧市から中学校一校が修学旅行にきている。さらに、台湾では国際教育旅行を推進していることから、当市と連携協定を締結している青森中央学院大学の協力を得て、台湾からの誘客活動に取り組んでいる。この結果、十月二十三日と二十八日に台湾の大学から二校が当市を訪れている。今後も修学旅行誘客活動を実施している青森県観光連盟教育旅行専門部会とも連携しながら、誘客の促進を目指していきたい。

中小企業支援策について

質問 原材料価格高騰対応等緊急保証制度の創設の趣旨を踏まえた対応の促進について伺いたい。

答弁 この制度は、利用できる保証業種を拡大し、さらに融資の保証上限額を大幅に拡大することにより原油、原材料価格の高騰に伴う中小企業の資金繰りを応援するための国の緊急支援制度として十月三十一日からスタートしている。当市では、年末を控え、市内中小企業者の運転資金の借入れ需要が一層増えることを想定して、十和田商工会議所との共催により保証協会を始め市内各金融機関が参集する十和田市金融懇談会を先月開催して、本制度の趣旨の確認と活用促進のための情報交換を行った。また、同懇談会で市の融資制度の活用も含め、市内中小企業に対する円滑な融資について、金融機関に特段の配慮を強く要請している。

